

協議第 14 号 生地三日市循環線のルート変更及びダイヤ改正について

1. 生地三日市循環線の運行状況

(1) 運行概要

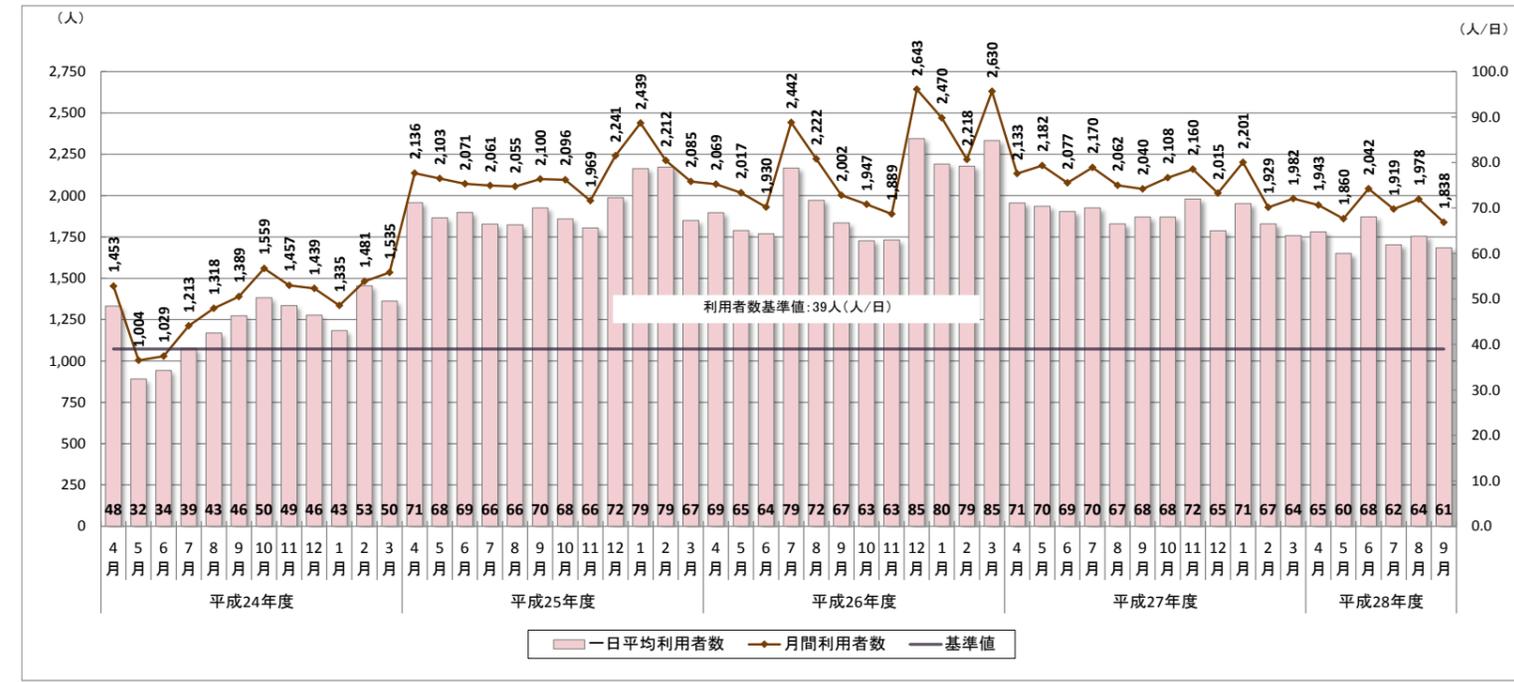
運行地域：生地地区、村椿地区、大布施地区、三日市地区
 運行日：毎日運行(無休)
 運行便数：12 便(循環)／日
 運賃：170 円～280 円



- ① 電鉄黒部駅～生地駅～黒部駅 : 1 便/日(第 1 便)
- ② 黒部駅～生地駅～黒部駅 : 6 便/日(第 2 便～第 5 便、第 10 便、第 11 便)
- ③ 電鉄黒部駅～生地駅～電鉄黒部駅 : 4 便/日(第 6 便～第 9 便)
- ④ 黒部駅～生地駅～電鉄黒部駅 : 1 便/日(第 12 便)

(2) 利用状況

- ① 利用状況の概況
 - ・1 日あたりの平均乗車人数は平成 24 年度 44 人、平成 25 年度 70 人、平成 26 年度 73 人、平成 27 年度 68 人、平成 28 年度 63 人と推移している。
 - ・平成 27 年 4 月からは減少傾向が続いている。



- ② バス停ごとの利用状況
 - ・黒部駅前、電鉄黒部駅前、生地駅、市民病院前、岩井整形外科といった駅や病院での乗降が多い。
 - ・住宅街では宮川町、吉田口、四十物町の利用が多い。
 - ・市街地エリアでは、生地方面からの往路便がないため、寺町商店街、大町商店街、牧野、黒部農協本店前の利用は少ない。メルシーの利用は、一定程度あるものの1 便あたり 0.5 人程度である。

2. 生地三日市循環線のルート、ダイヤ並びに路線名称の見直しについて

(1) 見直しの趣旨

- 生地三日市循環線の利用は平成 26 年度までは増加傾向にあったが、現在は徐々に利用が減少している状況であり、改善が必要なことから、以下の観点で見直しを行い、路線の維持及び活性化を図る。
- ・システムを統一し、わかりやすい路線に改善する。
 - ・市民病院の増改築工事の終了に伴い、3 月中旬から乗り入れが可能となるためバスを駐車場へ乗り入れし、利便性を高める。一方で、乗入れに係る所要時間により、運行時間が長くなることから、バス停の廃止を含めた見直しによる運行距離の短縮等、運行の効率化を図る。
 - ・あいの風とやま鉄道の電車の接続を可能な限り考慮する。
 - ・路線名称を「生地三日市循環線」から「生地循環線」に変更する。

